

EU Indicators

欧州経済指標コメント：6月ドイツZEW景況感

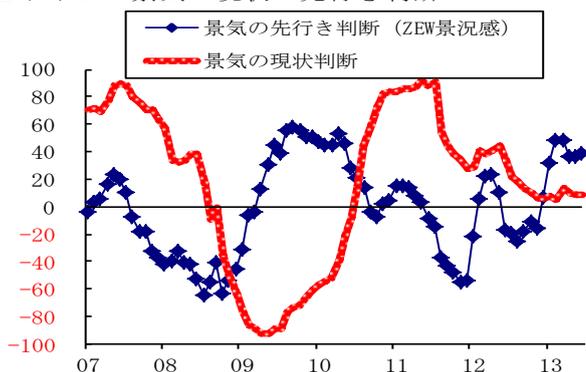
発表日：2013年6月19日(水)

～先行き改善期待の高まりではなく、先行き悪化懸念の後退～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

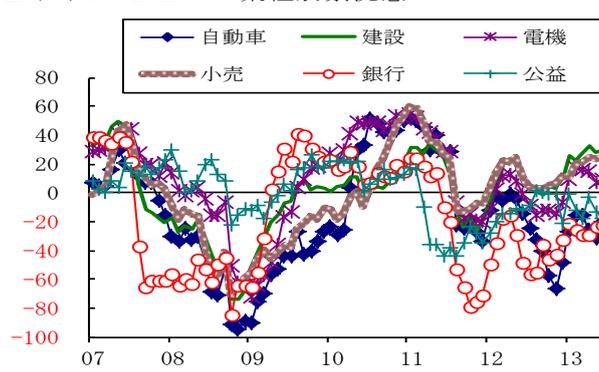
- 18日発表の6月のドイツのZEW景況感指数（市場参加者による半年先の景況感）は+38.5と前月（+36.4）と小幅改善した（左図）。調査票の回収期間は6月3～17日と、DAX指数が史上最高値を更新した後の調整局面と一致するが、市場参加者の先行きの景気回復期待は削がれていない。ただ、内訳をみると、「半年後の景況が改善する」と回答した割合が前月から0.5%ポイント低下した一方、「悪化する」と回答した割合がこれを上回る2.6%ポイント低下したことが、指数の改善につながった。つまり、景気の先行き悪化懸念の後退が業況改善につながっている訳だ
- 同時に発表された景気の現状判断は+8.6と前月（+8.9）から微減。3月（+13.6）をピークに3ヶ月連続で前月から改善モメンタムが低下している。先行きの回復期待と比べて、足許の景気回復ピッチが緩やかにとどまっていることが示唆される。
- 業種別の業況判断は区々。自動車、小売、不動産、銀行、情報が前月から上向いた一方、保険、公益、通信、鉄鋼、化学、機械が前月から悪化（右図）。同時に発表された各国別の先行きの景況判断は、ユーロ圏、フランス、イタリアが前月から悪化した一方、日本、米国、英国が上向いた。為替レート判断項目ではユーロの独歩高を予想する回答が増えており、通貨高による輸出下押しが懸念されるものの、ユーロ域外各国の景況判断が上向いていることが支えとなる。

■ ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所：ZEW

■ ドイツ：ZEWの業種別景況感



出所：ZEW

■ ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2012		2013		2012		2013					
	3Q	4Q	1Q	2Q	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
ZEW景況感（先行き）	-21.1	-6.8	42.7	37.1	-15.7	6.9	31.5	48.2	48.5	36.3	36.4	38.5
現状指数	17.3	7.0	8.6	8.9	5.4	5.7	7.1	5.2	13.6	9.2	8.9	8.6
Ifo景況感（総合）	102.3	101.4	106.1	105.1	101.5	102.5	104.3	107.4	106.7	104.4	105.7	—
現状指数	110.9	107.5	109.4	108.7	108.1	107.1	108.1	110.2	109.9	107.3	110.0	—
先行き指数	94.3	95.6	103.0	101.6	95.4	98.1	100.7	104.6	103.6	101.6	101.6	—
PMI製造業指数	45.0	46.3	49.7	48.8	46.8	46.0	49.8	50.3	49.0	48.1	49.4	—
サービス業指数	49.4	50.0	53.8	49.7	49.7	52.0	55.7	54.7	50.9	49.6	49.7	—

出所：ZEW、Ifo、Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。